

鶴岡アートフォーラム 感染症対策のリスク評価（イベント時）

2020.09.19 改訂

鶴岡アートフォーラムでは、感染症対策としてリスク評価を行ったうえで、ご利用いただいております。当施設のご利用に当たっては、以下の感染症対策に取り組んでいただきますようお願いいたします。

なお、対策方法や感染拡大状況によって、感染リスクが残る場合には、対策の強化や自粛を求めることがあります。

ご記入いただき、使用申請書とともにご提出ください。ご協力よろしくをお願いいたします。

使用目的・名称

使用場所

使用日時

以下、感染症対策をご確認のうえ、実施する**対応策**に✓を付けてください。**※印**は必須項目です。

1. 接触感染のリスク評価

(1) 主催者・関係者・利用者

- ※ unnecessary 接触を避ける
- ※ 利用前後に手洗いや手指消毒を行う
- ※ ゴミを廃棄する際には、マスクと手袋を着用し、処理後、手洗いをを行う
- その他（対応策：)

(2) 利用場所（控室を含む）

- ※ 触れた場所と物を利用後に消毒する
- その他（対応策：)

(3) 入場者

- ※ 手に取るものを展示しない
- ※ 席を移動しない（※フォーラム利用時必須）
- プレゼントや差入れは控えるよう呼びかける
- その他（対応策：)

(4) 受付・物販

- ※ 手指消毒用アルコールを設置する
- ※ 手や共有するものを、こまめに消毒する
- 手渡しを避ける
- 見本等、共有するものを置かない
- 手袋をする
- キャッシュレスにする
- 入場者がチケットを切る
- チケットレスにする
- その他（対応策：)

(5) 出演者（出演者や講師、ゲスト等がいる場合✓）

- ※ 観客と接触しない
- 出演者同士の接触を避ける
- その他（対応策：)

2. 飛沫感染のリスク評価

(1) 主催者・関係者・利用者

- ※対面を避け、マスクやフェイスシールドを着用する
- ※大声や近接での会話を避ける
- ※対面や密集しての飲食は避ける
- その他（対応策：)

(2) 利用場所（控室を含む）

- ※十分な間隔（1m程度）をとる
- ※湿度を50～60%で管理し、1時間に1～2回程度換気する
（ギャラリーとフォーラムでは、空気調和設備により集中管理をしています）
- その他（対応策：)

(3) 入場者

- ※マスク着用、咳エチケットを周知する（マスクを持参していない者へは主催者側で準備、アートフォーラムの受付でも1枚50円で販売しています）
- ※大きな声や近接での会話を避けるよう案内する
- ※個人やグループ（5名以内）の間では、座席を一席分（立っている場合は1m）空ける
- その他（対応策：)

(4) 受付・物販

- ※マスクやフェイスシールドを着用、または飛沫防護シールドを設置する
- その他（対応策：)

(5) 出演者（出演者や講師、ゲスト等がいる場合✓）

- ※観客と十分な間隔（2m以上）をとる
- ※高唱や管楽器、気鳴楽器は慎重に対策を行う
- マスクやフェイスシールドを着用する
- 拡声器を使う
- 観客との間に仕切りを設ける
- その他（対応策：)

3. 集客施設としてのリスク評価

(1) 主催者・関係者・利用者

- ※37.5度以上の熱や風邪等の感冒症状がある人は参加させない
- ※過去2週間以内に、陽性とされた者と濃厚接触がある人は参加させない
- ※保健所等から要請があった場合のために、入場者を含む全員の利用日時、名前、居住地（市区町村）、緊急連絡先電話番号を把握する（個人情報の取扱いには十分注意する）
- ※施設内で体調を崩し感染が疑われるものが発生した場合、防護対策を講じたうえで速やかに隔離し、救急搬送を要請し、感染していた場合には事後の状況を把握し、報告を行う
- ※体温の計測等、健康管理を行う 運営は必要最低限の人数で行う
- ※基礎疾患及び認知症を有する高齢者等を対象とした行事等は行わない
- その他（対応策：)

(2) 利用場所（控室を含む）

- ※制限人数以下で利用する（主催者や関係者等の全利用者と入場者の合計）
会議室1：6人 会議室2：12人 大会議室：40人 アトリエ：35人 フォーラム：80人
ギャラリー1A：20人 ギャラリー1B：30人 ギャラリー1C：30人
ギャラリー2A：50人 ギャラリー2B：40人
- ※入場者に大声での歓声や発声が想定される利用の場合は、制限人数の半数以下で利用する（主催者や関係者等の全利用者と入場者の合計）
- トイレが混雑する際には、十分な間隔（1m程度）あけて整列するよう誘導し、余裕のある休憩時間を設定する（※フォーラム利用時は必須）
- その他（対応策：)

(3) 入場者

- ※制限人数を超える際は入場人数の制限を行う ※滞留しないように誘導する
- ※大人数での入場を制限する ※入場時、非接触型体温計で検温する
- 指定席とする（フォーラム利用時） 接触確認アプリ等の利用を周知する
- 入待ちや出待ちは控えさせる（フォーラム利用時） 予約制や時間制、招待制とする
- その他（対応策：)

(4) 受付・物販

- ※受付・物販・待機場所でも十分な間隔（1m程度）をとる
- その他（対応策：)

(5) 出演者（出演者や講師、ゲスト等がいる場合✓）

- ※出演前後も含めて、感染症対策を慎重に行う 入待ちや出待ちなどへの対応は行わない
- その他（対応策：)

4. 地域における感染状況のリスク評価

(1) 主催者・関係者・利用者

※過去2週間以内に感染拡大している国や地域への訪問歴がある人は参加させない

※国や県で、感染症に対して非常事態にある時は、利用を自粛する

その他（対応策： _____）

(2) 入場者

参加者の居住地域を限定する

その他（対応策： _____）

(3) 受付・物販

過去2週間以内における県外への訪問歴を記録する

その他（対応策： _____）

(4) 出演者（出演者や講師、ゲスト等がいる場合✓）

※滞在中や開催前後の行動歴を記録する

※感染リスクの高い飲食店での外食は控える

その他（対応策： _____）

以上の対応策を講じたうえで利用します。

また、当施設で感染者が出た場合には、情報提供等、協力します。

日付 _____ 年 _____ 月 _____ 日

団体名 _____

代表者名 _____ 印

連絡先 Tel. _____ - _____ - _____

担当者 _____

受 付 印